

2018 年度第 4 回外洋常任委員会 議事録

日 時 : 2018 年(平成 30 年) 9 月 20 日(土) 18:30~20:00

場 所 : トーヨーアサノ会議室

東京都新宿区新宿5丁目13番9号 太平洋不動産新宿ビル6F

出席者 : (理事)

馬場益弘副会長、中澤信夫副会長、坂谷定生常務、新田肇、菊池邦仁、平松隆、
橘田佳音利、作田智恵子

(委員会)

ルール委員会外洋規則小委員会委員長 大村雅一

ジャパンカップ委員会委員長 植松 眞

外洋常任委員会事務局長 鈴木保夫

(順不同、敬称略) 計 11 名

議長 副会長 馬場益弘

記録 理 事 作田智恵子

議題

1. 外洋艇推進グループ組織図の確認

組織図の最終版配布、メンバーの確認(メンバー表配布)

2. ジャパンカップ・パールレースその後の処理について

JC:3 艇のエントリー(光風、サマーガール、パラフレニアン)があったが、規程の 10 艇に届かず
不成立。

参加艇を増やすためのアイデアを満載したが、集まらない。

↓

委員会を設けて、なぜ集まらないか分析し、来年の開催について検討する。

パールレース:全参加艇に残金を返金した(確定参加料の 50%)。

3. 外洋艇登録申込書、抹消届のデータ電子化の件(継続審議事項)

資金の問題:予算立てがない。建屋移転に伴う整理なので JSAF 本体から出ないか?

同様の資料はディンギーにはない。外洋の資料なので JSAF 本体は費用の負担を考えていない。:大村事務局長

原本の保管はそもそも必要か? 会員のデータはない。

艇登録の場合は、セール番号を継承することが多々あるため、過去のデータが必要な場合が起きる。

同様の資料はディンギーにはない。外洋の資料なので JSAF 本体は費用の負担は考えていない。
その場合、原本の PDF 化ではなく使えるデータにしたほうが良いのではないか。

結論には届かず審議事項とする。

団体長会議の議題とはしない。

新たな見積りもとる。

4. オリンピック応援フラッグリレーについて(経過と今後の進め方について)

昨年 2 枚を新調し、現在 4 枚のフラッグがリレーされている。その各フラッグのリレーの経過報告と地図でまとめて団体長会議で報告をする。また、フラッグをリレーするところを募集する。

5. 外洋艇及び外洋系セーラーの現状と今後の方向性について(継続審議事項)

クルーザーのオープンレースや、クラブレースの参加クルーは会員でない人が多く、また彼らの多くは若いのでどうやって取り込むか。各団体からのアイデアを求める。

ディンギーはメダル獲得後オファーが増えている。外洋で金メダルに匹敵するものはないか？

6. 台風 21 号と北海道地震の被害状況と今後の対策

JSAF から各団体に向けて配信された標記支援金募金の資料に基づき検討された。

東北の震災以降寄付をしていたが、最近は災害が多く発生し、お互い様の感。

この件は、各団体の問題、寄付先についても明らかでない。

北海道地震においてはヨットハーバーには被害がなかった。

団体長会議での議題ではないのではないかと意見もあったが、今後の対応や実際の被害について参加者から聞くため、議題とすることにした。

ただし、添付の報告書は、比較的被害が少ないハーバーの被害状況なので、誤解を避けるため、団体長会議の議題にあげる場合は、この報告書は添付しない。

台風 21 号については、和歌山県も含めて関西のかなりのハーバーで被害が大きかった。

西宮マリーナ、西宮浜は壊滅状態。

7. 専門委員会報告

① キールボート委員会: 中澤担当理事

2018 中国太湖レース(11 月 15 日—11 月 19 日開催・賞金レース)の説明があった。

② 外洋計測委員会: 八木委員長報告書

③ ルール委員会外洋規則小委員会: 大村委員長

1) ルールブック電子書籍化及びケースブック(電子版およびプリントアウト版)の発行について報告があった。

2) 外洋セーラー向けルール講習会の案内があった。

8. そのほか

① 小笠原レース: 新田三崎会長

2017 年に続き 2019 年に開催予定。沖縄レースと交互に開催していきたい。

レース公示が団体長会議の資料として出されたが、案であり検討部分もあるので配布はチラシとする。

IRC,ORC のダブルエントリーとあるが、JSAF の基本は IRC で、推奨は、ORC はダブルではなくデュアルスコアリング。ORC 単独では NG。JSAF との共同主催、後援を希望する場合、この辺の整理が必要。JSAF 主催のレースは IRC のみ。前はスルーしてしまった。

② パラオレース:新田三崎会長

グアムレース復活を希望したが、諸所問題があるので、パラオレースを検討。

結果、パラオは親日国、2019 年はアメリカからの独立 25 周年でもあるので、開催はほぼ確定。今年 10 月 20 日のベイサイドオープンレースで披露する。

2019 年 12 月 29 日横浜スタートで、神奈川県連と外洋団体の共同主催。

外洋三崎、外洋東京湾は確定。三浦、湘南は検討中。

③ (仮)加山プロジェクトについて:大村 JSAF 事務局長

再開するコンサートの収益の一部を子供の海洋教育、海洋環境の保全に使いたいので、内容を検討してほしいとのこと。第一締め切りまでには、団体長会議での協議は間に合わないの、頭出しの意味で適当なものを提出することとした。(大村氏に一任)

④ 事故報告体制構築の件:坂谷常務理事

9 月 1 日の理事会において、事故報告の義務化に向けて準備中であるとの報告があった。

これは WS の意向による。

⑤ 国際委員会へのテストイベントの消滅経緯の説明請求:植松前副会長

国際委員会に出席し、東京オリンピックの際のテストイベント消滅に至った経緯についてきちんとした説明を求める。

⑥ 次回外洋常任委員会は 2018 年 12 月 1 日(土)理事会、専門委員会に引き続き開催

以上の議事において、審議の結果 9 月 29 日開催の外洋団体長会議の議題は以下とする。

1. 外洋艇推進グループ組織図の確認
2. ジャパンカップ・パールレースその後の処理について
3. オリンピック応援フラッグリレーについて(経過と今後の進め方について)
4. 外洋艇及び外洋系セーラーの現状と今後の方向性について
5. 台風 21 号と北海道地震の被害状況と今後の対策
6. 事故報告の義務化について
7. 日本一パラオ親善レースおよび小笠原レースについて
8. 2018 中国太湖レースについて
9. 専門委員会報告
10. その他

以上

文責:作田智恵子